

2025-26 年度
クラブ米山委員長会議
＝ 資 料 ＝



2025 年 8 月 23 日（土）
国際ロータリー第 2 6 1 0 地区
ロータリー米山記念奨学会委員会

クラブ米山委員長会議

日時：2025 年 8 月 23 日（土） 15:30-16:45

会場：金沢ニューグランドホテル 4 階 金扇

次 第

15:15 受付開始

15:30 開 会 米山記念奨学会委員長 松崎 秀規

出席者紹介

15:35 挨 拶 ガバナー 小山 英一

15:40 クラブ米山委員長会議

- ① 米山記念奨学事業について（PP）
- ② 2025-26 寄付金納入明細について
- ③ 2026-27 学年度 奨学生採用関連
 - （ア）10 月世話クラブ募集
 - （イ）11 月面接委員選定
 - （ウ）12 月面接実施
- ④ その他
 - （ア）第 5 回米山学友による世界大会について

16:45 閉 会 ユース・米山部門カウンセラー 松本 耕作

閉会

**国際ロータリー第2610地区
2025-26年度 ロータリー米山記念奨学会事業**

クラブ米山委員長会議 関係者名簿

2025年8月23日（土） 15：30～16：45
金沢ニューグランドホテル 4階 金扇

	役 職	氏 名	所属クラブ
1	公益財団法人ロータリー米山記念奨学会評議員	欠 湯浅外志男	小松
2	公益財団法人ロータリー米山記念奨学会理事	永田 義邦	高岡
3	2025-26年度ガバナー／カウンセラー	小山 英一	小松東
4	2025-26年度ガバナー・エレクト	欠 翠田 章男	富山みらい
5	2025-26年度ガバナー・ノミニー	欠 北川 善昭	金沢香林坊
6	2025-26年度ユース・米山部門カウンセラー	松本 耕作	金沢
7	2025-26年度地区幹事	潮津 勇	小松東
8	2025-26年度担当地区副幹事	欠 大畑 清三	小松
9	地区米山奨学委員会委員長	松崎 秀規	金沢
10	地区米山奨学委員会副委員長・奨学生	平木留里子	富山みらい
11	地区米山奨学委員会委員・奨学生	欠 古川 善康	立山
12	地区米山奨学委員会委員・奨学生／カウンセラー	横尾 宗憲	新湊中央
13	地区米山奨学委員会委員・奨学生	柳澤 剣治	高岡
14	地区米山奨学委員会委員・奨学生	欠 森 吉信	小矢部中
15	地区米山奨学委員会委員・奨学生	藤間 勘菊	金沢百万石
16	地区米山奨学委員会副委員長・学友会	打出 孝彦	富山みらい
17	地区米山奨学委員会前委員長/委員・寄付	嶋田 登	小矢部
18	地区米山奨学委員会委員・学友会	欠 東 皆子	河北南
19	地区米山奨学委員会委員・学友会	欠 池辺 奏	金沢
20	地区米山奨学委員会副委員長・採用	欠 新木 知彦	金沢香林坊
21	地区米山奨学委員会委員・採用／カウンセラー	大路 孝之	金沢百万石
22	地区米山奨学委員会委員・採用	宮本 一夫	加賀白山
23	地区米山奨学委員会副委員長・寄付	村谷 哲也	河北南
24	地区米山奨学委員会委員・寄付	宮森 恒成	野々市
25	カウンセラー	欠 中村 正司	河北南
26	カウンセラー	八塚 昌俊	高岡北
27	カウンセラー	引田 均	高岡西
28	カウンセラー／クラブ米山委員長	欠 遠藤 忠洋	富山
29	カウンセラー／クラブ米山委員長	高見 恵子	小松シティ
30	カウンセラー／クラブ米山委員長代理	杉本 和美	白山
31	カウンセラー	欠 齋藤 典子	小松
32	カウンセラー／クラブ米山委員長	中村 敏幸	中能登まほろば
33	カウンセラー	中澤 彰孝	金沢
34	カウンセラー	欠 福村 貴司	加賀白山
35	カウンセラー／クラブ米山委員長	三平 佐弓	金沢東

36	カウンセラー／クラブ米山委員長	北野 豊	金沢香林坊
37	カウンセラー／クラブ米山委員長	小竹 正記	砺波
38	カウンセラー／クラブ米山委員長	岸田 毅	氷見中央
39	カウンセラー／クラブ米山委員長	欠 宝田 明芳	立山
40	カウンセラー／クラブ米山委員長	欠 成伯 将史	富山西
41	カウンセラー	新明 政夫	小矢部中
42	カウンセラー	欠 下出 美香	加賀
43	カウンセラー	欠 松井 聡	七尾みなど
44	カウンセラー	欠 車 英里	高岡
45	クラブ米山記念奨学委員長	浅地 聡	富山中
46	クラブ米山委員長	稲井 公博	射水
47	クラブ米山奨学会委員長	勝山 英和	高岡
48	クラブ米山副委員長	魚住 晃一	高岡北
49	国際奉仕委員長	千田 敏勝	高岡西
50	クラブ米山記念奨学会委員長	田中喜久代	金沢西
51	2025-26年度R財団・クラブ米山委員長	本村 幸宏	野々市
52	友好推進・国際奉仕小委員長	伊林 永幸	加賀中央
53	クラブ米山奨学会委員長	中田 一於	小松
54	ユース・米山部門委員長、クラブ米山記念奨学会委員長	由田 徹	能美
55	クラブ米山小委員長	上坂 経英	七尾
56	クラブ米山記念小委員長	木下 徳泰	七尾みなど
57	クラブ米山記念委員会 委員長	三宅 寛	能都
58	地区米山学友会会長	範 雋偉	小矢部
59	地区米山学友会	LE THI ANH	能美

クラブ米山記念奨学委員長の ミッション

日本と世界を結ぶ人材育成の要として

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の事業価値は「どんな奨学生を採用したか」だけでなく、「どんな奨学生に育てたか、育ってくれたか」にあります。
米山記念奨学委員長は、この価値を実現するための重要な役割を担っています。

2025年8月23日(土)
国際ロータリー第2610地区
ローヤリー米山記念奨学会委員会



米山記念奨学委員長の3つの使命



これら3つの柱は互いに連携し、「日本と世界を結ぶ懸け橋となる人材を育成する」
というロータリー米山記念奨学事業の使命を支えています。



使命1: 奨学事業の理解促進

地区研修・協議会への出席

地区が主催する米山部門の研修や協議会に積極的に参加し、事業について深く学びます。得た知識をクラブに持ち帰り、会員の理解促進に役立てます。

奨学生との直接交流

地区の米山関係行事に参加し、奨学生と交流することで、生きた体験を得ます。この体験を通じて、事業の感動を自分の言葉で会員に伝えることができます。

クラブ内プログラムの企画

特に10月の「米山月間」には、奨学生や学友を招いた卓話、DVD上映会、パネルディスカッションなど、会員の関心を高めるプログラムを企画します。

使命2: 寄付増進 - 安定的な財源確保のために

寄付金動向の把握と目標設定

毎月の寄付金明細表を確認し、前年度の実績を下回らないよう目標を設定します。地区米山記念奨学委員会からの情報や、米山奨学会ホームページの寄付実績データを活用し、常に現状を把握します。

表彰制度の活用

寄付累計額が表彰基準に近い会員に声をかけ、さらなる寄付を促します。達成者には感謝の意を表し、クラブ内で表彰することで、他の会員の寄付意欲も高めます。



寄付状況の「見える化」は、会員の意識向上に効果的です。定期的に寄付状況を報告し、目標達成への意識を共有しましょう。

寄付増進のための創意工夫

「米山袋」の設置

神戸東灘RCでは、例会場に「米山袋」を設置し、会員が気軽に寄付できる環境を整えています。小額でも継続的な寄付を促すことで、寄付総額の増加につながっています。

奨学生受入による意識向上

尼崎北RCでは、奨学生を受け入れることで会員の寄付意識が向上しました。奨学生との交流を通じて、支援の意義を実感できることが寄付増進につながります。

クラブ支援奨学生制度

東京王子RCでは、独自のクラブ支援奨学生制度を活用。地区補助金と合わせて奨学金を提供することで、より多くの留学生を支援し、会員の参加意識を高めています。

記念年に合わせた寄付

鳩ヶ谷RCでは、クラブの創立記念年に合わせて寄付額を増額。記念事業として米山奨学事業への支援を位置づけ、会員全体で取り組んでいます。

これらの事例は寄付金マニュアルに掲載されており、各クラブの状況に合わせてアレンジすることができます。

使命3: 奨学生・学友との交流促進と広報



クラブ全体での受け入れ体制

奨学生を受け入れる前に、その意義と役割をクラブ会員に周知徹底します。特定の会員だけでなく、クラブ全体で奨学生をサポートする環境を整えることが重要です。

調整役としての機能

奨学生、カウンセラー、クラブ会長の間に立ち、円滑な交流のための調整を行います。問題が生じた際には、適切に対応し、解決に導きます。

奨学生との交流は、単なる経済的支援にとどまらず、互いの文化理解や国際交流の促進につながります。

この経験は、ロータリアンにとっても貴重な国際理解の機会となります。

学友情報の収集と広報活動

情報収集

カウンセラーと協力して、過去に世話をした学友の情報を収集します。米山奨学会から提供される学友リストも活用し、連絡を取り合います。

活躍の把握

学友の現在の活動や成果を把握します。日本と母国との懸け橋としての活躍や、専門分野での成果など、具体的な情報を集めます。

広報活動

収集した情報をクラブの週報やSNS（Facebook等）で積極的に発信します。地区の広報委員会とも連携し、より広範囲に学友の活躍を伝えます。

活動のフィードバック

広報活動の反響を会員や学友と共有し、さらなる交流や支援のきっかけを作ります。寄付者に活動の成果を還元することで、事業への理解も深まります。





効果的な交流プログラムの企画

奨学生・学友による卓話

米山記念奨学生や学友による卓話は、**会員が寄付金の使途を実感する最も効果的な方法です**。研究内容や将来の夢、母国の文化紹介など、様々なテーマで話してもらうことで、支援の意義を実感できます。

指導教員との交流

必要に応じて、**奨学生の指導教員も例会に招き、研究の意義や奨学生の学業の様子について話してもらう**ことで、奨学生の学術的背景への理解が深まります。

文化交流イベント

奨学生の母国の料理を楽しむ会や伝統文化を体験するイベントなどを企画し、会員と奨学生の距離を縮める機会を作ります。このような活動は、互いの文化理解を深める貴重な機会となります。

世話クラブではない場合の交流促進



地区内奨学生の招聘

世話クラブでなくても、地区内の奨学生や学友をクラブに招き、交流の機会を設けることができます。この取り組みは、より多くの会員に米山事業の意義を伝える効果があります。

映像資料の活用

米山奨学会が制作した動画や資料を活用し、奨学事業の概要や成果を視覚的に伝えます。特に「米山月間」には、これらの資料を用いたプログラムを企画することが効果的です。

すべてのクラブが世話クラブになれるわけではありませんが、様々な形で米山事業に関わり、その価値を実感することができます。委員長は、クラブの状況に合わせた参加方法を提案し、会員の理解を促進します。

委員長に求められる能力と姿勢



情報収集力

米山奨学事業に関する最新情報を常に収集し、正確にクラブ会員に伝える能力が必要です。**地区委員会からの情報や米山奨学会ホームページの活用が重要です。**



コミュニケーション力

奨学生、カウンセラー、クラブ会長、会員の間での調整役として、円滑なコミュニケーションを図る能力が求められます。異文化理解の姿勢も重要です。



熱意と共感力

米山事業の意義に共感し、その価値を熱意を持って伝える姿勢が必要です。奨学生の立場に立って考え、適切なサポートを行う共感力も重要です。

これらの能力を高めるために、地区の研修会や交流イベントに積極的に参加し、他クラブの委員長との情報交換も行いましょう。経験豊かな先輩ロータリアンからのアドバイスも貴重な学びとなります。

→ 本日の懇親会も 大いに ご活用ください！

年間活動計画の立案

7-8月：計画立案期

年間の活動計画を立て、クラブ会長・理事会との調整を行います。
特に「米山月間」（10月）のプログラム内容を早めに
決定し、準備を進めます。

1

2

9-10月：米山月間

奨学生・学友の卓話、DVD上映会、寄付キャンペーンなど、
集中的に米山関連のプログラムを実施します。会員の理解促進
と寄付増進を図ります。

3

11-12月：中間評価

米山月間の成果を振り返り、寄付状況を確認します。
必要に応じて追加の寄付促進策を検討・実施します。

4

1-3月：交流促進期

奨学生との交流イベントを企画・実施します。新年会や送別会
など、季節の行事に合わせた交流の機会を作ります。

5

4-6月：引継ぎ準備

年間活動の成果をまとめ、次期委員長への引継ぎ資料を作成し
ます。特に学友情報や効果的だった取り組みについて、
詳細に記録します。

ミッション達成のために

「米山記念奨学事業は、日本のロータリーが誇る最大の国際貢献事業です。その価値を広め、未来につなげていくのは、私たち委員長の重要な使命です。」



理解を深める

奨学事業の意義と感動を、自分の言葉で伝えましょう。実体験に基づく話は、会員の心に響きます。



寄付を促進する

寄付の先にある「人材育成」という価値を伝え、会員の共感を得ることが、持続的な寄付増進につながります。



交流を広げる

奨学生との交流は、異文化理解の宝庫です。この機会をクラブ全体で共有し、国際理解を深めましょう。